

こんにちは! 日本共産党 長野市議団 です

日本共産党 市議会だより
2019年3月定例議会報告
発行/日本共産党長野市会議員団
長野市緑町1613 長野市役所内 日本共産党控室
〒380-8512 TEL.226-4911(内線3936) FAX.266-7882
HP http://www.avis.ne.jp/~up/naganojcp/
E-mail nsjcp@mx1.avis.ne.jp



3月 議会報告



3月定例議会は2月27日から3月25日まで、2019年度予算案、18年度補正予算案など議案、条例改正、人事案報告、請願の審議が行われました。

日本共産党市会議員団は、代表質問を阿部議員が、一般質問は野々村、黒沢、滝沢、竹内各議員が行い、佐藤議員が予算修正案の提案を行いました。

消費税増税容認、国保料、学校給食費を 値上げした平成31年度長野市一般会計予算に反対

2019年度長野市予算は、消費税2%増税を含めた各種手数料の値上げ、愚策のプレミアム商品券発行経費が計上されています。消費税10%への増税によって、市民1人当たり年間4万円もの負担増となります。国民は平成元年から30年間で372兆円、国民一人当たり310万円、長野市民全体で1兆円を超える消費税を納めてきました。しかし社会保障は後退するばかりで、結局消費税は大企業と大金持ちの減税分と、大軍拡予算に回されました。

加藤市長に増税に反対すべきと質しました。「安定的な財源確保のために10月からの引き上げが確実に行われることが重要」と答弁しました。

また国民健康保険会計では、一般会計からの繰り入れが1億2千万円削減され、国保料の引き上げが行われました。また子育て支援の充実が求められているにもかかわらず、学校給食費の値上げが行われ、保護者負担が増やされました。

学校給食費値上げは中止を 給食費補助、無料化をすすめるべき

「格差社会」のなかで子どもの貧困問題も深刻となっています。党市議団は、子育て支援のためにも給食の無料化をすすめるべきで、給食費の値上げはすべきではない、給食費の補助をできることから負担軽減を始め

るべきと訴え、例えば3人目の子どもはまず無料にすべきと質問しました。

市教委は「非常に多くの児童・生徒を抱える本市としては、財源等慎重に研究する必要がある」と消極的な答弁でした。

平成31年度予算の修正案を提出 党市議団と無所属の西村議員で共同提案

マンション建設より子育て支援の強化を

民間の商業施設とマンション建設への公費投入は不要との立場から、南石堂A-1地区優良建築物等整備事業補助金2億5700万円(※)の減額を求めました。

また、子どもたちが文化・芸術に触れる機会を確保するため、平成30年度まで実施していた市立小学校の3年生から中学校3年生までの児童・生徒を対象とした芸術鑑賞音楽会補助金を平成31年度も継続する経費として662万7千円の増額を求めました。

減額分については、貧困と格差が広がる下での子育て支援策として、子どもの医療費の500円の窓口負担を無くし、小学校入学前まで完全無料化する経費として1億4677万4千円。

※南石堂A-1地区優良建築物等整備事業総事業費44億円の民間商業施設とマンション建設に8.8億円を投入する計画



竹内 茂

建設企業委員会/公共施設のあり方特別委員会/長野広域連合協議会議員/議会編集委員会



滝沢しんいち

経済文教委員会/農林業振興対策特別委員会(副委員長)/決算特別委員会/議会活性化検討委員会/都市内分権審議会



黒沢 清一

福祉環境委員会(副委員長)/小中学校の在り方調査特別委員会/議会運営委員会/千曲衛生施設組合協議会議員/都市内分権審議会/市社会事業協会評議員



佐藤くみ子

総務委員会/農林業振興対策特別委員会/都市計画審議会



あべ 孝二

福祉環境委員会/公共施設のあり方特別委員会/議会運営委員会/議会活性化検討委員会/農業委員



野々村ひろみ

建設企業委員会/まちづくり対策特別委員会/長野広域連合協議会議員

すべての園児に給食費を無料に

幼保無償化が始まった後も給食費は対象になりません。

食事は子供の発達・発育に欠かせないものであり、給食費は保育料の一環として公費で負担し、子育て世代を支えるべきと質問を行いました。

こども未来部長からは「保育の一環として重要と考える」としながらも「国の基準として方針が示されており、その基準に沿って考える」との答弁。

国の基準だからやらないというのではなく、若い人たちが長野市で子どもを育てたくなるよ

うな市政運営を市長に求めました。

市長からは大変重要なことであり、財政的な影響額や周辺市町村との連携など調査研究したいとの答弁でした。



危険な消防団の警鐘たたきの中止を

消防団の火の見やぐらに登つての警鐘たたきについて、市はこの間「市民の防火意識の高揚を図る周知啓発手段」「技術向上のため大変重要」としてきました。しかし落下すれば死亡事故にもつながりかねません。

訓練の為にどうしても必要と言うのなら、安全性を確保したうえで専門的な訓練を行えばいいだけです。地上からの操作で警鐘を鳴らせるよう改修すること、警鐘をたたかずとも周知できる代替案の検討を求めま

した。改修については特許の関係か

ら単年度でできる数に限りがあり、安全性を踏まえ、各分団で柔軟な対応をしていただいている。代替案については自治体消

防発足から70年、新しい時代の流れに沿ったあらゆる情報伝達手段を検討したいとの答弁でした。



長野市若槻の火のみやぐら

小中学校教職員の

長時間勤務の改善について

「働き方改革が進むよう支援する」と回答

教員の精神疾患による休職者が増え、教員の長時間労働は限界に達しています。

長時間勤務の背景には、業務の増大、不登校の増加、いじめ問題など学校の抱える課題が増え、さらに、全国学力テスト、学校評価など多くの施策を学校に押し付けた結果、教職員の多忙化に拍車をかけました。

市教委は「長野市の学校における働き方改革推進に向けた懇

談会」を8月、11月に開催しました。

この懇談会を受けて基本方針に、現場の声をどう反映しようとしているか市教委に質問しました。

市教委は、学校訪問を実施し、4月からの学校の働き方改革が進むように支援していくと答弁。具体的に改善されるように今後も要求していくことが重要です。

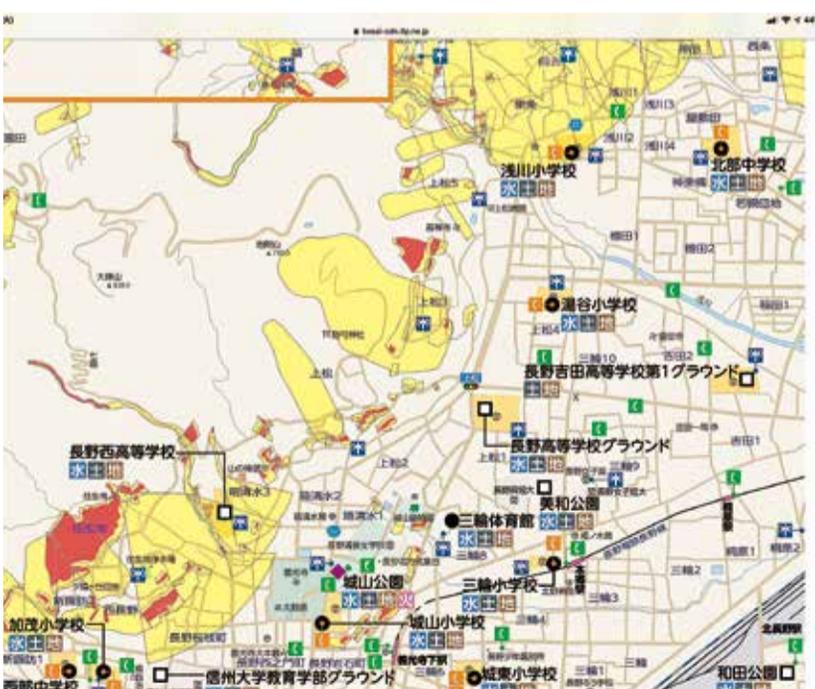
災害用緊急電話を 避難所での管理に改善

市内小中学校に災害用緊急電話が設置されていますが、回線は配備されていても電話機そのものは学校には保管されていません。

災害時に限定したものであるため通常は危機管理防災課で保管し、避難所が開設されたとき、必要に応じて避難所設置担当者が持参し、設置することになっています。

しかしこれでは大災害時には

設置できない事が懸念され、改善を求めました。危機管理防災監は、「速やかに通信手段を確保するためには施設内で管理することがより確実な方法であるため、施設管理者と協議を進め準備・配備を進めたい。」と答弁し、改善が約束されました。



防災タウンページ、避難所マップより

市街地の緑化政策と

広がる街の駐車場化について

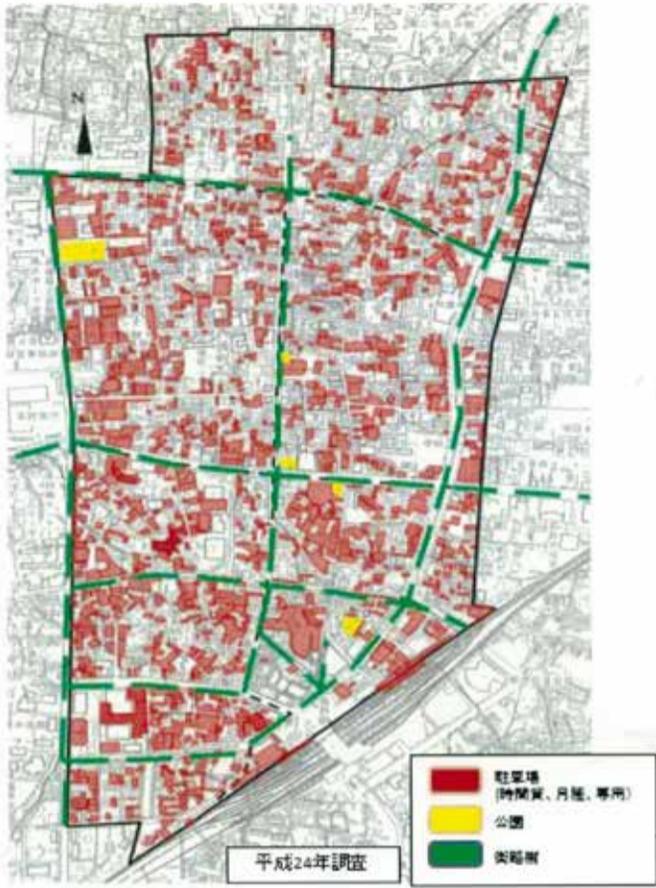
長野市の市街地にはあまりに緑が少ないと感じています。

長野市は「長野市緑を豊かにする計画」を改定中ですが、公園の緑と主要道路の街路樹ばかりに重きを置いたものです。

まち全体を緑豊かにすると、緑化への市民意識の啓蒙を訴えました。

同時に中心市街地で駐車場があまりに広まっていることを危惧し質問しました。

図は中心市街地の駐車場を赤で表しています。街の空洞化で宅地の駐車場化が広がっている



中心市街地の中心部における駐車場等の分布図
(空き家の跡地などのオープンスペースはほとんどが駐車場として利用されています。)

ことに驚かされます。

都市整備部長は「人口減少を原因とした空き地や駐車場が増え魅力の低下が懸念されている。バランスのとれた街づくりに取り組む必要がある。」と答弁しました。

市長も「衝撃な図を見た。市内に駐車場が広まっていることを改めて感じた。対応を考えていきたい。」と答弁しました。商業地・地域経済の深刻な衰退が表面化しています。

選挙の投票率向上について

今年は12年に一度の選挙が続く年で、投票率を向上させるために質問しました。

まず長野駅自由通路に期日前投票所の設置を求めましたが、ネットワーク設備や突然の選挙にも対応しなければならぬことから当面は困難。

駅前内に市の関連施設が計画されたら検討したいとのことでした。駅自由通路に期日前投票所の設置は、投票率向上の大きなアツピールになることも訴えました。

次に支所など期日

前投票所の投票を最終日も行えるように求めました。市では南部地域に優先して検討することを表明しました。

若者への投票率向上対策として、もっと自由に政治を語り合う機会が必要なことも訴えました。



住民主体の公共交通の実現を

岐阜市のコミュニティバスはほぼ全市を網羅し、ルートもダイヤも運賃も地域住民が話し合いで決め、高齢化率によって60〜80%の行政からの補助金で運営されています。

富士宮市も地域の企業や開業医などの協力を得て、バス停オーナー制度を導入し、運営費を捻出しながら、行政と交通事業者と地域が

協力し合ってコミュニティバスを維持しています。

長野市も大いに参考にし、地域住民に寄り添った議論が必要と質しました。理事者からはこれら2市も参考にしながら長野らしい公共交通を確保していきたいと答弁しました。

編集後記

私にはこんな人と友達になれたら知恵を授かり、さぞ豊かな感性の持ち主になれたのではないかなと思う先輩女性が二人いました。一人は俳優の樹木希林さんです。ユーモアがあつて生き方に説得力がありました。「求め過ぎない。欲なんてきりなくあるんだから。足るを知る。自分の身の丈に合ったレベルで良しとする。他人と比べず、面白がつて生きる。」

もう一人は、生活評論家の吉沢久子さんです。「一日一日を丁寧に機嫌よく生きるためには、自分が夢中になれるものを見つけること。日々の暮らしの中にある些細なものにも目を届かせ、小さな幸せを見落とさない。」どちらも生き活の質を大切に、前向きで明るく、地にしっかりと足をつけた方でした。

(事務局・角井)

資源再生センター火災対応に当たって

申し入れました

2019年4月5日
日本共産党長野市議団
団長：野々村博美



昨日未明発生した長野市資源再生センターの火災にあたって、下記について申し入れます。
また昼夜分かたず消火に当たっていただいています関係者、また対策に追われておられる皆様には感謝申し上げます。体に留意され、ご尽力いただきますこと、併せて市民生活と健康への影響を最小限に食い止めるためにご努力いただきますようお願いいたします。

記

- 1、 有毒ガスなど環境と市民の健康に影響が出ていることが懸念される。直ちに環境汚染の調査を行い、特に乳幼児、呼吸器系疾患を持つ市民、高齢者などへの対応を行うこと。
- 2、 周辺では赤水被害が出ている。水の供給を十分に行うこと。高齢者、障害者など災害弱者には懇切丁寧な対応を行うこと。
- 3、 ごみ収集への影響は市民生活に大きいものがあるが、広報活動を強化し、市民の協力を広く呼びかけること。

以上



こんにちは

野々村ひろみです



切実な市民要望を意見書としてあげることができました

高すぎる国保料に、社会保障推進協議会から一本の請願

●請願その1「国民健康保険の国庫負担拡大と子どもに係る均等割り保険料の軽減措置を国に求める意見書採択について」**全会一致で採択**

長野市では、あまりにも高すぎる国保料の滞納が7500世帯にもなっています。国保加入者が発足時と比べて、農林水産業、自営業者が減少し、代わり無職者、非正規労働者など被用者が増えています。国保加入者は所得水準が低いことから保険料負担が

重く、収納率が低下し、財政基盤が弱いのが特徴です。さらに、年齢層が高いため医療費水準も高くなります。こうした構造的な問題に加えて国庫補助率大幅に削減してきたことが高すぎる保険料の根本的な要因です。

この請願が全会一致で採択されたことは世論と運動の成果です。均等割は、収入がなくても世帯の人数にかかる「人头税」とも言われています。「赤ちゃんまで国保税を払わなくてはいけない『均等割』っておかしい」という声上がるのも当然です。

●請願その2「長野市国民健康保険料引き上げの中止と子どもの均等割りの長野市による独自軽減策の実現を求める請願」**新友会(自民系)と公明党が反対し、不採択に**

長野市は今年度、国保会計への市独自の一般会計からの繰入金金を1億2千万円も削減し、保険料を値上げしました。市民の負担能力は限界を超えています。にもかかわらず、新友会と公明党はこの請願に反対し、保険料の引き上げを容認しました。

●公明党だけ反対

「長野市市税条例の一部を改正する条例に関する請願」(請願者：一般社団法人長野法人会)

長野市市税条例の一部を改正する条例に関する請願は、資本金一千万円以下で従業員50人未満の均等割税率6万円を5万円に一万円減額し、従業員50人以上の均等割14万4千円を12万円に減額するというもので、景気回復が不十分な中で、中小零細企業への支援策として、前年度からの継続を行うものです。対象事業所は50人未満が8020件、50人以上は69件に成ります。安倍晋三内閣のアベノミクスは地方の中小法人には全く恩恵がなく多くの事業所は赤字経営です。少しの軽減でも地域で頑張っているいと共産党は賛成しました。公明党は「リーマンショックへの国の特例措置が終了している。景気は回復、効果がうすい」として反対しました。

請願採択に奮闘しました。

●沖縄県民の民意を尊重し名護市辺野古における

米軍基地建設の中止を求める請願について

継続審査を主張した委員から「投票からまだ2週間であり、国の動向をみるべき」「市民の意見を聞く期間が必要」との意見が出されましたが、一体いつまで国の動向を見るといのでしょうか。国が民意を尊重し、土砂投入を中止しているのであればそれもありません。しかし、政府は住民投票の結果を尊重すると言いながら土砂投入を続けているのに反対しました。

請願への対応

	共産党	新友会	改革ネット	公明党	無所属A	無所属B	結果
沖縄県民の民意を尊重し、名護市辺野古における米軍新基地建設の中止を求める請願	—	—	—	—	—	—	※継続審査
長野市市税条例の一部を改正する条例に関する請願	○	○	○	×	○	○	採択
国民健康保険の国庫負担拡大と子どもに係る均等割保険料の軽減措置を国に求める意見書採択についての請願	○	○	○	○	○	○	採択
長野市国民健康保険料引き上げの中止と子どもの均等割の長野市による独自軽減策の実現を求める請願	○	×	○	×	×	○	不採択
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願	○	×	○	×	○	○	不採択

※共産党・改革ネットは採択すべきと主張